

単元計画 Lesson4

	オリジナル ICT 教材を用いた活動	『英語ノート』・カード等を用いた活動	電子黒板の一画面
<p>第1時「できる・できないを考えながら聞いてみよう」</p> <p>pp.24-25</p>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の挨拶（ヒンディー語・ロシア語）</li> <li>動物の名前の口頭練習</li> <li>動物当てゲーム</li> <li>チャンツ ♪I can swim. ♪</li> <li>オリジナル音読活動</li> <li>電子ペンマンシップ活動</li> </ul>	<p>『英語ノート』の絵を見ながら、各動物が話す音声を聞き、どの動物のことなのかをグループで考える。</p>	<p>電子黒板の一画面</p>  <p>スミス先生をタッチすると、チャンツの音声が流れる。児童の様子を見ながら、何回も繰り返すことができる。音声とともに、文字も提示した。</p>
<p>第2時「できる・できないを言ってみよう」</p> <p>pp.25-27</p>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の挨拶（中国語・ポルトガル語）</li> <li>チャンツ ♪I can swim. ♪</li> <li>「できる？できない？」ゲーム</li> <li>「I can～. I can't～」の口頭練習</li> <li>オリジナル音読活動</li> <li>電子ペンマンシップ活動</li> </ul>	<p>流れてくる英語の音声を聞いて『英語ノート』p.26の絵を指さす。</p> <p>カルタゲーム</p>	 <p>初めに音声が流れ、その数秒後絵が出る。児童は「Yes」と答えながら起立したり、「No」と答えながら着席したりする。</p>
<p>第3時「あなたはできますか」</p> <p>pp.26-27</p>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の挨拶（韓国語・英語）</li> <li>動作絵カードを用いてフレーズの口頭練習</li> <li>ペアクイズ</li> <li>スミス先生のできること・できないことを聞く</li> <li>オリジナル音読活動</li> <li>電子ペンマンシップ活動</li> </ul>	<p>ペアクイズ</p> <p>スミス先生ができることを予想して『英語ノート』p.26に○△を書く</p>	 <p>ペアクイズの説明場面</p> <p>5秒ごとに動作絵カードが提示される。カードの絵を見て、「Can you～」の練習をする。この後、ペアで実際にカードを使って練習する。</p>
<p>第4時「できること・できないことを伝えよう」</p> <p>pp.25-28</p>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の挨拶（ヒンディー語・ポルトガル語）</li> <li>動作絵カードでフレーズの口頭練習</li> <li>チャンツ ♪I can swim. ♪</li> <li>ショー・アンド・テルの発表手順を知る</li> <li>ショー・アンド・テル「できること・できないこと」の練習</li> <li>オリジナル音読活動</li> <li>電子ペンマンシップ活動</li> </ul>	<p>ショー・アンド・テル「できること・できないこと」で使う絵を、『英語ノート』p.28に描く。(宿題)</p>	 <p>スミス先生が発表のモデルを示す場面。次時の発表のイメージを持てるようにする。</p>
<p>第5時「できること・できないことを伝えよう」</p> <p>p.25 p.28</p>	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の挨拶（フランス語・中国語）</li> <li>チャンツ ♪I can swim. ♪</li> <li>動物絵カードでフレーズの口頭練習</li> <li>ショー・アンド・テル「できること・できないこと」の発表練習</li> <li>オリジナル音読活動</li> <li>電子ペンマンシップ活動</li> </ul>	<p>グループ内で「できること・できないこと」を発表する。</p> <p>希望する児童が全員の前で発表する。</p> <p>発表のふり返りをする。</p>	 <p>絵をタッチすると「play baseball」などの音声が流れる。発表前の練習で使用される。</p>

第5時の指導案

過程	児童の活動	学級担任の活動 指導上の留意点	スミス先生の指示	電子黒板
挨拶 (3分)	Hello, ~. I'm fine. Thank you, and you? ア	Hello, ~ How are you? I'm fine, thank you.  "I'm fine." や "great" 以外で答えられるように支援する	Hi, everyone! Are you ready to start? Let's study English together!  How are you today? I can't hear you well. / That's the spirit! I feel great! Now, let's greet your teacher and friends.	 ア スミス先生と英語で挨拶
	世界の挨拶にふれる イ  友だちと提示された国の挨拶をする	どこの国の言葉かを推測させ、文化や生活等について、簡単な説明をしながら進める	Greetings from all over the world ボンジュール (フランス語) ニーハオ (中国語)	 イ 世界の挨拶 (フランス語)
前時の復習 (7分)	リズムに合わせて大きな声でチャンツをする ウ	"Can you ~?" "I can ~." "I can't ~." の復習をするため、バリエーションを広げて (役割分担 ex. 男子がペンギン, 女子が鳥のパート) 行う  学習者のモデルとしてチャンツの手本を見せ「できること・できないこと」の表現を児童とともに確認する	Are you ready to study English? Are you ready to chant?	 ウ チャンツ ♪ I can swim. ♪
	電子黒板に表示される動作絵カードでフレーズの口頭練習をする エ	絵を見たら自然に口に出るように、繰り返し口頭練習する  スミス先生の指示内容を推測させ、手本を示しながら理解を図る (以降の指導においても同様に行う)	Do you remember?  Swim ~ Play baseball  Well done, everyone!	 エ 動作絵カードでフレーズの口頭練習
	児童が手本を示す先生役となり、電子黒板にタッチしながらリピートをする オ	動作のフレーズを児童とともに繰り返し口頭練習する  児童が声に出してリピートできているか、机間指導で確認する		 オ 動作絵カードをタッチして全員で口頭練習
展開 (20分)	『英語ノート』p.28 Activity ショー・アンド・テルの準備をする  スミス先生のモデル発表を聞く カ  担任の発表を聞く  ペアで練習する  「できること・できないこと」を4人1組のグループ内で発表する  友だちの発表を聞いて、『英語ノート』p.27に友だちの名前を記入する  全員の前で発表する  友だちの発表をよく聞いて、よいところを発表する	発表の手順を確認する  絵を見せながらゆっくりと発表する  発表の手順を再度確認する キ  うまく言えなくても気にせず、相手が理解できるように伝えることを支援する  よい発表を行うために、お互いにアドバイス (声の大きさ, 視線等) させる  できるだけ多くの児童が前に来て発表できるよう支援する	Now, put your English Notebook on your desk.  Now, you introduce what you can do and can't do. Do you have your drawings?  First, I'll show you how to do it again. (スミス先生の発表) Hello, everyone. ~ Thank you.  OK? Now, let's practice your speech. Please repeat after me.  OK, it's your turn. Let's practice in groups.  Now, anyone wants to try in front of the whole class? Any volunteers?  Great job! Let's give a big hand!	 カ スミス先生の発表を聞く   キ 自己紹介シートをもとに練習をし、発表に臨ませる

<p>音読活動 (10分)</p>	<p>これまで学習したキーセンテンスの音読練習をする</p> <p>第1時から第4時までのすべてのキーセンテンス (Part1 全て Are you there?...I feel ashamed.) を視聴する </p> <p>本時のストーリー全体を視聴する </p> <p>キーセンテンスに注意して聞く</p> <p>キーセンテンスのところで流れてくる音声をとらえ声を出してみる</p>	<p>前時のあらすじを確認し、キーセンテンスのふり返りをさせる</p> <p>英語のリズムに慣れるため、聞いたとおり口まねをするように指示し、手本を示す</p> <p>Part1 (吹き出しなし) を流す 何回も声に出すことができるように、バリエーションをもたせて繰り返す</p> <p>音読練習をしたキーセンテンス部がどこで出てくるかに注目させる</p> <p>流れてくる英語の音声をとらえ、耳に入ったらすぐに口に出してみる (シャドーイング) よう支援する</p> <p>どこでキーセンテンスが出てくるかに注目させる</p>	<p>Let's ONDOKU Now, let's watch “まごころ戦争”</p> <p>第1時から第4時までのキーセンテンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Are you there?</li> <li>• Come on in!</li> <li>• You can make milk tea.</li> <li>• I just don't want to go to school.</li> <li>• I'm not happy.</li> <li>• He always studies in the classroom.</li> <li>• I can't study that much.</li> <li>• You are great.</li> <li>• You can do many things.</li> <li>• I feel ashamed.</li> </ul> <p>OK. It's your turn! Let's shadow the key sentences.</p> <p>Can you try reading these sentences?</p> <p><b>ONDOKU 1</b></p> <p>Why did you come up with the Magokoro-day idea? ~ I feel ashamed.</p> <p>Well done, everyone!</p>	 <p> キーセンテンスの口頭練習</p>  <p> ストーリー場面</p>
<p>電子ペンマンシップ (3分)</p>	<p>電子ペンマンシップ活動</p> <p>音読教材で扱った単語を取り出し、流れてくる音声を聞いて発音し、電子黒板上の文字をなぞってみる。</p>			
<p>挨拶 (2分)</p>	<p>本時のふり返りと挨拶をする</p>	<p>Good-bye, ~ See you again.</p>	<p>It's time for finish. You did a great job, everyone! See you soon!</p>	